

1 概況（従業者4人以上の事業所）

～事業所数は4年連続で減少、従業者数は5年ぶりに減少、製造品出荷額等は3年ぶりに減少～

- ・ 事業所数は、4年連続で減少（前年比2.4%減）し、8,786事業所となっている。
- ・ 従業者数は、5年ぶりに減少（同0.1%減）し、41万3,000人となっている。
- ・ 製造品出荷額等は、3年ぶりに減少（同2.2%減）し、1兆7,540億円となっている。
- ・ 粗付加価値額は、5年ぶりに減少（同3.1%減）し、6兆3,253億円となっている。

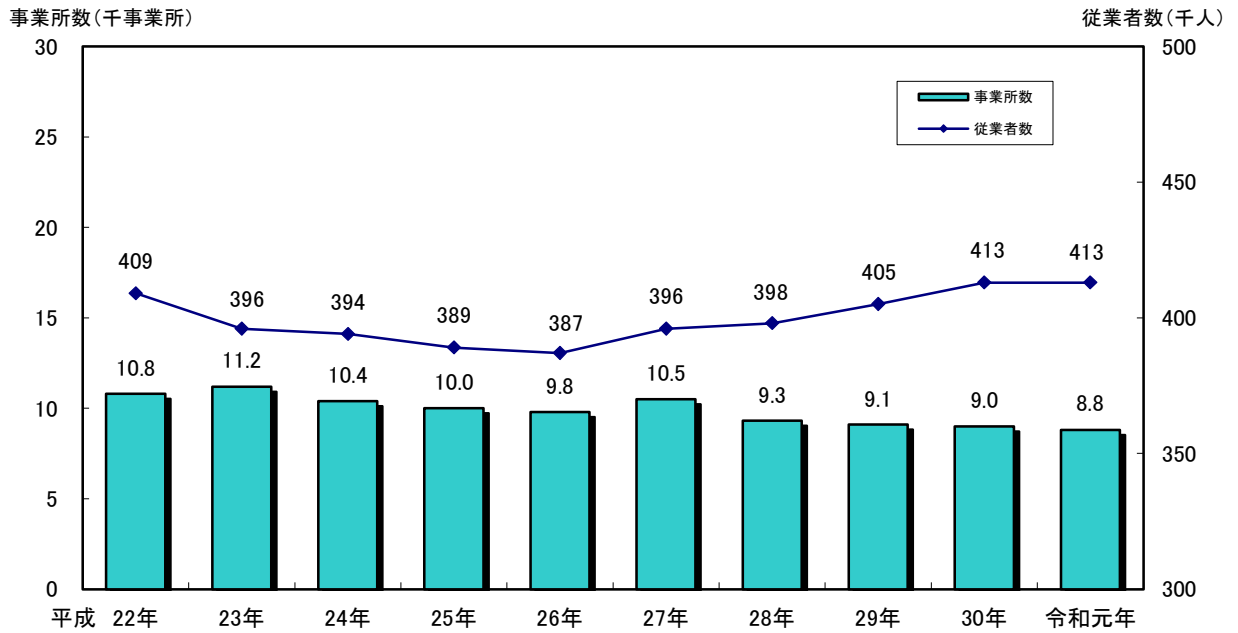
区 分	平成30年	令和元年	増減数	前年比
事業所数	9,002事業所	8,786事業所	▲216事業所	▲2.4%
従業者数	41万3,309人	41万3,000人	▲309人	▲0.1%
製造品出荷額等	17兆5,395億円	17兆1,540億円	▲3,855億円	▲2.2%
粗付加価値額	6兆5,279億円	6兆3,253億円	▲2,027億円	▲3.1%

（注）「製造品出荷額等」、「粗付加価値額」の各年数値は単位未満を四捨五入しているため、「増減数」が表中の数値の計算結果と一致しないことがある。

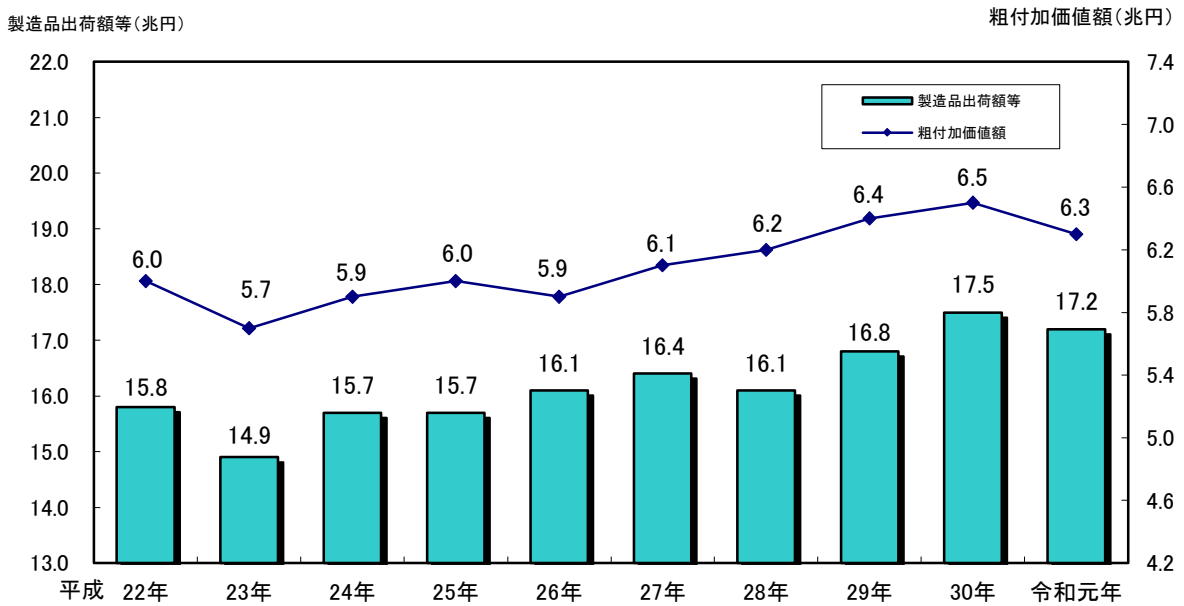
事業所数、従業者数、製造品出荷額等、粗付加価値額の推移

年次	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		粗付加価値額	
	実数 (事業所)	前年比 (%)	実数 (人)	前年比 (%)	実数 (百万円)	前年比 (%)	実数 (百万円)	前年比 (%)
平成2年	19 366	3.9	523 810	1.9	16 265 222	7.0	6 309 484	6.8
3	18 709	-3.4	528 845	1.0	17 218 708	5.9	6 755 280	7.1
4	18 096	-3.3	524 826	-0.8	16 810 547	-2.4	6 673 936	-1.2
5	18 382	1.6	514 853	-1.9	15 911 106	-5.4	6 465 710	-3.1
6	17 200	-6.4	502 232	-2.5	15 570 122	-2.1	6 413 435	-0.8
7	17 479	1.6	495 584	-1.3	16 162 954	3.8	6 669 552	4.0
8	16 615	-4.9	487 605	-1.6	16 380 538	1.3	6 755 661	1.3
9	16 354	-1.6	486 103	-0.3	17 008 725	3.8	6 960 748	3.0
10	17 098	4.5	486 036	0.0	16 341 886	-3.9	6 747 735	-3.1
11	15 781	-7.7	467 232	-3.9	15 912 187	-2.6	6 662 515	-1.3
12	15 736	-0.3	461 184	-1.3	16 610 776	4.4	6 793 235	2.0
13	14 630	-7.0	455 455	-1.2	16 186 259	-2.6	6 438 066	-5.2
14	13 730	-6.0	437 004	-3.8	16 185 060	0.2	6 712 574	4.7
15	13 922	1.4	433 906	-0.7	15 963 846	-1.4	6 400 370	-4.7
16	12 947	-7.0	433 061	-0.2	16 699 764	4.6	6 593 739	3.0
17	13 228	2.2	441 562	2.0	17 322 744	3.7	6 738 475	2.2
18	12 525	-5.3	446 948	1.2	18 234 667	5.3	6 923 274	2.7
19	12 427	-0.8	457 695	2.4	19 410 264	6.4	7 117 065	2.8
20	12 535	0.9	446 577	-2.4	19 177 718	-1.2	6 858 635	-3.6
21	11 266	-10.1	411 551	-7.8	15 050 953	-21.5	5 749 816	-16.2
22	10 768	-4.4	409 030	-0.6	15 793 109	4.9	5 982 464	4.0
23	11 194	4.0	396 465	-3.1	14 949 739	-5.3	5 651 737	-5.5
24	10 431	-6.8	393 687	-0.7	15 707 724	5.1	5 903 797	4.5
25	10 037	-3.8	388 877	-1.2	15 699 131	-0.1	5 993 632	1.5
26	9 777	-2.6	386 924	-0.5	16 050 724	2.2	5 908 799	-1.4
27	10 492	7.3	396 406	2.5	16 412 474	2.3	6 146 591	4.0
28	9 299	-11.4	398 450	0.5	16 132 178	-1.7	6 166 799	0.3
29	9 138	-1.7	405 154	1.7	16 787 113	4.1	6 357 133	3.1
30	9 002	-1.5	413 309	2.0	17 539 461	4.5	6 527 944	2.7
令和元年	8 786	-2.4	413 000	-0.1	17 153 997	-2.2	6 325 262	-3.1

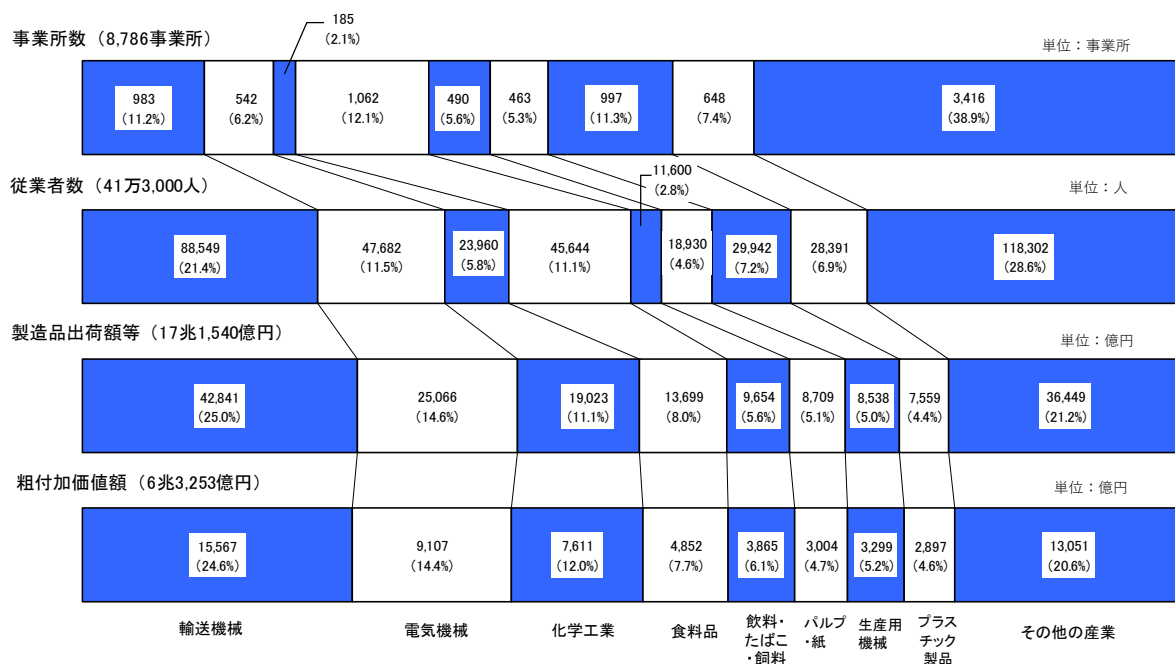
事業所数、従業者数の推移



製造品出荷額等、粗付加価値額の推移



産業中分類別事業所数、従業者数、製造品出荷額等、粗付加価値額の構成



製造品出荷額主要20品目

品目番号	品目名	産出事業所数	出荷金額(万円)
101114	茶系飲料	13	15 206 699
105111	たばこ	1	x
149939	その他の紙製衛生用品	80	17 181 141
162932	触媒	3	23 940 739
165211	医薬品製剤(医薬部外品製剤を含む)	27	60 286 238
183211	自動車用プラスチック製品	232	17 556 861
253513	エアコンディショナ(ウインド形、セパレート形を除く)	6	32 670 340
291121	直流・交流小形電動機(3W以上70W未満)	3	27 148 138
292221	内燃機関電装品の部分品・取付具・附属品	72	29 457 621
293213	エアコンディショナ	1	x
294211	白熱電灯器具	9	37 767 468
295111	鉛蓄電池	3	15 222 178
311111	軽・小型乗用車(気筒容量2000ml以下)(シャシーを含む)	3	95 069 111
311114	トラック(けん引車を含む)	2	x
311118	二輪自動車(側車付、モータスクータを含む)	2	x
311314	自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品	147	28 270 529
311315	駆動・伝導・操縦装置部品	212	115 285 732
311317	シャシー部品、車体部品	118	16 310 877
311329	その他の自動車部品(二輪自動車部品を含む)	175	39 222 209
311331	KDセット(乗用車、バス、トラック)	4	18 667 937

2 事業所数（従業者4人以上の事業所）

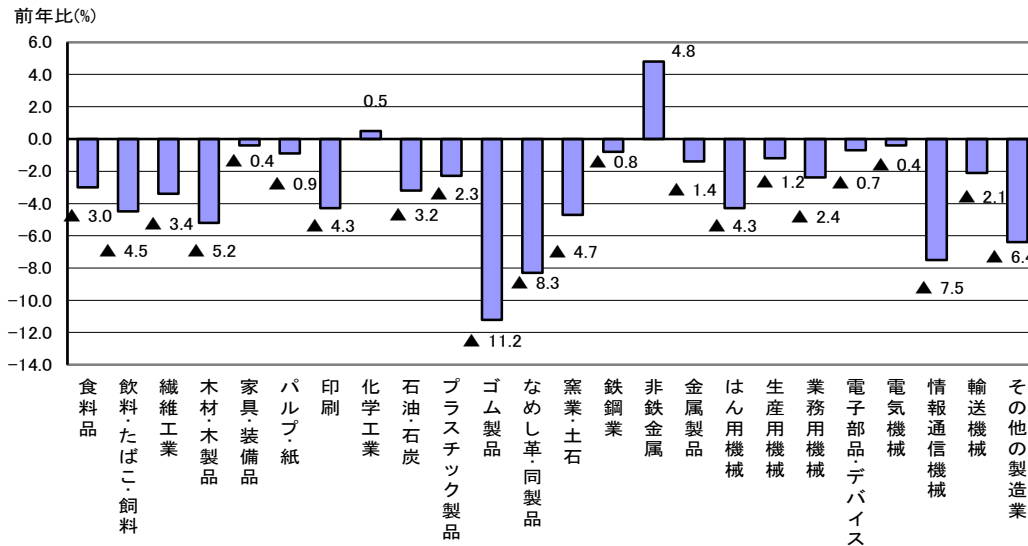
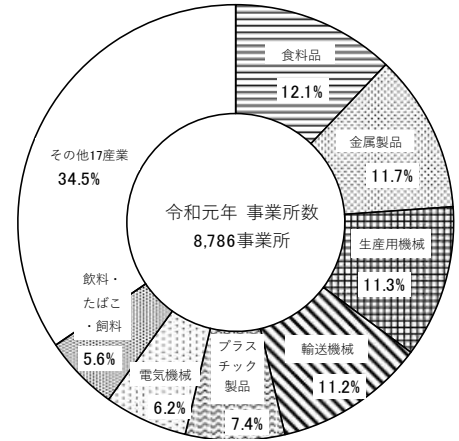
～事業所数は4年連続で減少～

事業所数は、8,786事業所で、前年より216事業所減少（前年比2.4%減）している。

(1) 産業中分類別の状況

構成比は、「食料品」（12.1%）が最も大きく、以下「金属製品」（11.7%）、「生産用機械」（11.3%）、次いで「輸送機械」（11.2%）の順となっている。

前年比は、「非鉄金属」（4.8%増）、「化学工業」（0.5%増）の2産業で増加したが、「ゴム製品」（11.2%減）、「なめし革・同製品」（8.3%減）、「情報通信機械」（7.5%減）等の22産業で減少した。



産業中分類	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		
	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	前年比 (%)
総計	9 299	100.0	9 138	100.0	9 002	100.0	8 786	100.0	-2.4
重工業	4 714	50.7	4 661	51.0	4 611	51.2	4 547	51.8	-1.4
軽工業	4 585	49.3	4 477	49.0	4 391	48.8	4 239	48.2	-3.5
09 食料品	1 149	11.9	1 120	12.3	1 095	12.2	1 062	12.1	-3.0
10 飲料・たばこ・飼料	536	6.4	529	5.8	513	5.7	490	5.6	-4.5
11 繊維工業	263	3.0	246	2.7	235	2.6	227	2.6	-3.4
12 木材・木製品	253	2.9	261	2.9	248	2.8	235	2.7	-5.2
13 家具・装備品	262	3.1	250	2.7	241	2.7	240	2.7	-0.4
14 パルプ・紙	467	4.7	469	5.1	467	5.2	463	5.3	-0.9
15 印刷	296	3.2	284	3.1	276	3.1	264	3.0	-4.3
【16】化学工業	187	1.8	186	2.0	184	2.0	185	2.1	0.5
【17】石油・石炭	33	0.3	32	0.4	31	0.3	30	0.3	-3.2
18 プラスチック製品	681	7.0	661	7.2	663	7.4	648	7.4	-2.3
19 ゴム製品	100	1.1	99	1.1	98	1.1	87	1.0	-11.2
20 なめし革・同製品	15	0.2	15	0.2	12	0.1	11	0.1	-8.3
21 窯業・土石	222	2.4	215	2.4	214	2.4	204	2.3	-4.7
【22】鉄業	138	1.6	128	1.4	130	1.4	129	1.5	-0.8
【23】非鉄金属	105	1.2	107	1.2	105	1.2	110	1.3	4.8
【24】金属製品	1 019	11.1	1 042	11.4	1 047	11.6	1 032	11.7	-1.4
【25】はん用機械	267	2.6	256	2.8	255	2.8	244	2.8	-4.3
【26】生産用機械	1 036	11.2	1 021	11.2	1 009	11.2	997	11.3	-1.2
【27】業務用機械	137	1.6	127	1.4	127	1.4	124	1.4	-2.4
【28】電子部品・デバイス	139	1.4	143	1.6	135	1.5	134	1.5	-0.7
【29】電気機械	563	5.5	545	6.0	544	6.0	542	6.2	-0.4
【30】情報通信機械	45	0.5	42	0.5	40	0.4	37	0.4	-7.5
【31】輸送機械	1 045	11.3	1 032	11.3	1 004	11.2	983	11.2	-2.1
32 その他の製造業	341	4.0	328	3.6	329	3.7	308	3.5	-6.4

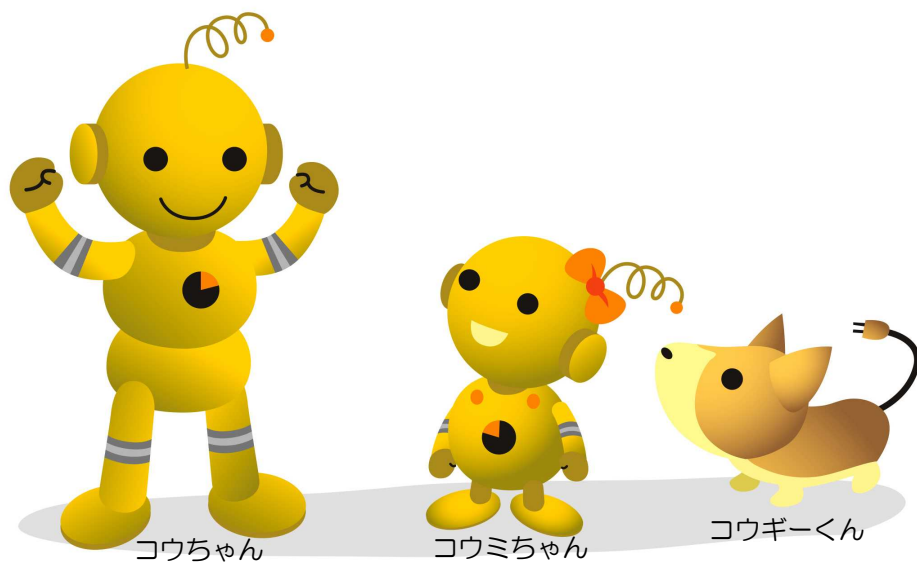
【 】は重化学工業

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成比をみると、「小規模」(73.3%)が最も大きく、以下「中規模」(24.3%)、「大規模」(2.5%)の順となっている。

前年比は、「大規模」(1.4%増)では増加したが、「中規模」(1.8%減)及び「小規模」(2.7%減)では減少した。

年次	総数		小規模			中規模			大規模		
	事業所数 (事業所)	前年比 (%)	4～29人			30～299人			300人以上		
			事業所数 (事業所)	構成比 (%)	前年比 (%)	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	前年比 (%)	事業所数 (事業所)	構成比 (%)	前年比 (%)
平成22年 (2010)	10 768	-4.4	8 538	79.3	-5.0	2 031	18.9	-2.5	199	1.8	3.6
23 (2011)	11 194	4.0	8 880	79.3	4.0	2 123	19.0	4.5	191	1.7	-4.0
24 (2012)	10 431	-6.8	8 188	78.5	-7.8	2 059	19.7	-3.0	184	1.8	-3.7
25 (2013)	10 037	-3.8	7 808	77.8	-4.6	2 039	20.3	-1.0	190	1.9	3.3
26 (2014)	9 777	-2.6	7 573	77.5	-3.0	2 012	20.6	-1.3	192	2.0	1.1
27 (2015)	10 492	7.3	8 133	77.5	7.4	2 162	20.6	7.5	197	1.9	2.6
28 (2016)	9 299	-11.4	7 004	75.3	-13.9	2 096	22.5	-3.1	199	2.1	1.0
29 (2017)	9 138	-1.7	6 801	74.4	-2.9	2 127	23.3	1.5	210	2.3	5.5
30 (2018)	9 002	-1.5	6 616	73.5	-2.7	2 171	24.1	2.1	215	2.4	2.4
令和元年 (2019)	8 786	-2.4	6 436	73.3	-2.7	2 132	24.3	-1.8	218	2.5	1.4



(工業統計キャラクター)

3 従業者数（従業者4人以上の事業所）

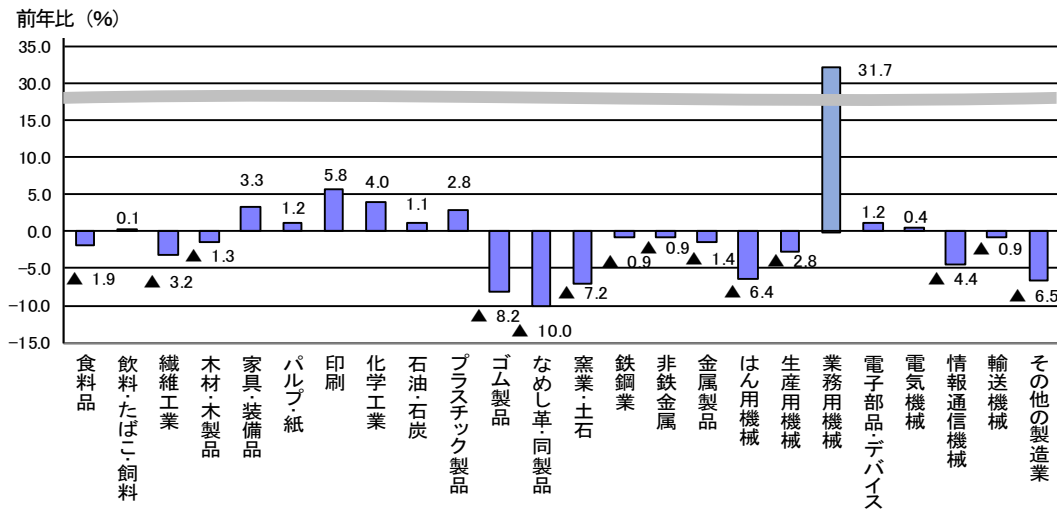
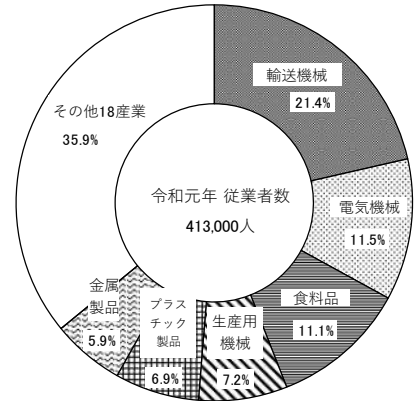
～従業者数は5年ぶりに減少～

従業者数は、41万3,000人で、前年より309人減少（前年比0.1%減）している。

(1) 産業中分類別の状況

構成比は、「輸送機械」（21.4%）が最も大きく、以下「電気機械」（11.5%）、「食料品」（11.1%）の順となっている。

前年比は、「業務用機械」（31.7%増）、「印刷」（5.8%増）、「化学工業」（4.0%増）等の10産業で増加したが、「なめし革・同製品」（10.0%減）、「ゴム製品」（8.2%減）、「窯業・土石」（7.2%減）等の14産業で減少した。



産業中分類	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		
	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)	前年比(%)
総重	398 450	100.0	405 154	100.0	413 309	100.0	413 000	100.0	-0.1
化学工業	254 522	63.9	258 926	63.9	263 554	63.8	264 492	64.0	0.4
軽工業	143 928	36.1	146 228	36.1	149 755	36.2	148 508	36.0	-0.8
09 食料品	46 248	11.6	46 130	11.4	46 551	11.3	45 644	11.1	-1.9
10 飲料・たばこ・飼料	11 248	2.8	11 405	2.8	11 586	2.8	11 600	2.8	0.1
11 繊維工業	5 340	1.3	5 286	1.3	5 384	1.3	5 213	1.3	-3.2
12 木材・木製品	4 810	1.2	4 846	1.2	4 453	1.1	4 393	1.1	-1.3
13 家具・装備品	4 459	1.1	4 447	1.1	4 369	1.1	4 511	1.1	3.3
14 パルプ・紙	18 266	4.6	18 612	4.6	18 709	4.5	18 930	4.6	1.2
15 印刷	7 546	1.9	7 841	1.9	7 684	1.9	8 129	2.0	5.8
【16】化学工業	23 084	5.8	23 062	5.7	23 040	5.6	23 960	5.8	4.0
【17】石油・石炭	431	0.1	449	0.1	448	0.1	453	0.1	1.1
18 プラスチック製品	24 199	6.1	24 787	6.1	27 615	6.7	28 391	6.9	2.8
19 ゴム製品	6 952	1.7	7 531	1.9	7 882	1.9	7 234	1.8	-8.2
20 なめし革・同製品	293	0.1	347	0.1	319	0.1	287	0.1	-10.0
21 窯業・土石	5 223	1.3	5 243	1.3	5 295	1.3	4 916	1.2	-7.2
【22】鉄鋼工業	4 013	1.0	3 471	0.9	3 656	0.9	3 623	0.9	-0.9
【23】非鉄金属	7 714	1.9	7 272	1.8	7 231	1.7	7 167	1.7	-0.9
【24】金属製品	22 284	5.6	23 628	5.8	24 784	6.0	24 427	5.9	-1.4
【25】はん用機械	11 074	2.8	10 946	2.7	11 451	2.8	10 721	2.6	-6.4
【26】生産用機械	29 686	7.5	30 252	7.5	30 816	7.5	29 942	7.2	-2.8
【27】業務用機械	9 159	2.3	9 517	2.3	8 585	2.1	11 305	2.7	31.7
【28】電子部品・デバイス	11 764	3.0	12 068	3.0	12 512	3.0	12 656	3.1	1.2
【29】電気機械	43 814	11.0	43 774	10.8	47 484	11.5	47 682	11.5	0.4
【30】情報通信機械	5 214	1.3	5 159	1.3	4 190	1.0	4 007	1.0	-4.4
【31】輸送機械	86 285	21.7	89 328	22.0	89 357	21.6	88 549	21.4	-0.9
32 その他の製造業	9 344	2.3	9 753	2.4	9 908	2.4	9 260	2.2	-6.5

【 】は重化学工業

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成比をみると、「中規模」(42.9%)が最も大きく、以下「大規模」(37.5%)、「小規模」(19.6%)の順となっている。

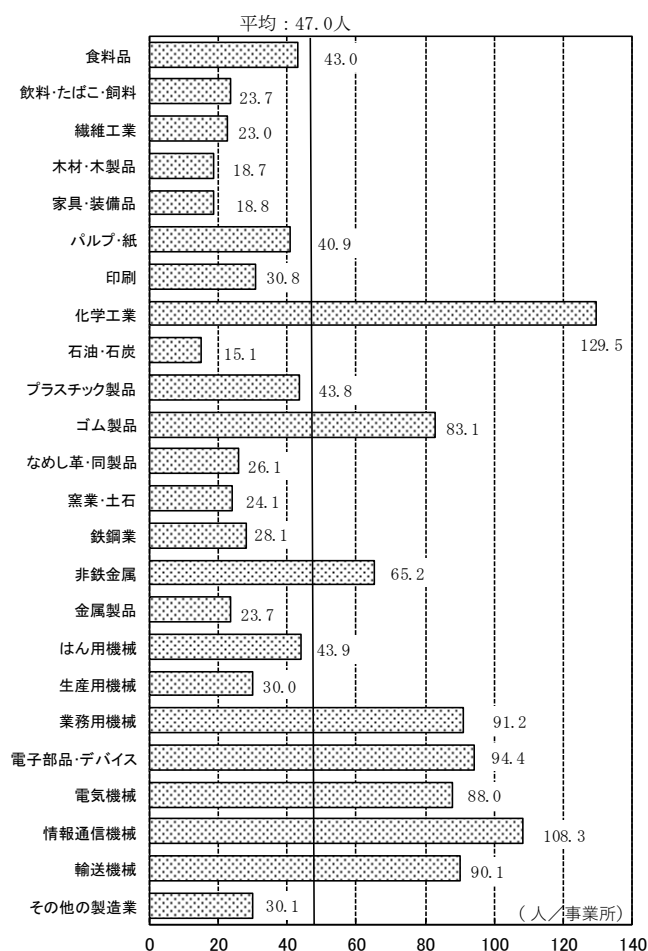
前年比は、「大規模」(2.8%増)では増加したが、「中規模」(1.6%減)及び「小規模」(2.0%減)では減少した。

年次	総数		小規模			中規模			大規模		
			4～29人			30～299人			300人以上		
	従業者数 (人)	前年比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)	従業者数 (人)	構成比 (%)	前年比 (%)
平成22年 (2010)	409 030	-0.6	98 000	24.0	-2.2	168 370	41.2	-1.5	142 660	34.9	1.5
23 (2011)	396 465	-3.1	95 406	24.1	-2.6	166 267	41.9	-1.2	134 792	34.0	-5.5
24 (2012)	393 687	-0.7	93 795	23.8	-1.7	167 148	42.5	0.5	132 744	33.7	-1.5
25 (2013)	388 877	-1.2	90 569	23.3	-3.4	165 824	42.6	-0.8	132 484	34.1	-0.2
26 (2014)	386 924	-0.5	89 299	23.1	-1.4	164 274	42.5	-0.9	133 351	34.5	0.7
27 (2015)	396 406	2.5	90 194	22.8	1.0	171 432	43.2	4.4	134 780	34.0	1.1
28 (2016)	398 450	0.5	85 661	21.5	-5.0	173 799	43.6	1.4	138 990	34.9	3.1
29 (2017)	405 154	1.7	84 356	20.8	-1.5	175 267	43.3	0.8	145 531	35.9	4.7
30 (2018)	413 309	2.0	82 568	20.0	-2.1	179 943	43.5	2.7	150 798	36.5	3.6
令和元年 (2019)	413 000	-0.1	80 956	19.6	-2.0	177 067	42.9	-1.6	154 977	37.5	2.8

(3) 1事業所当たりの状況

1事業所当たりの従業者は、47.0人(前年差1.1人増、前年比2.4%増)となっている。

産業別では、「化学工業」の129.5人(同4.3人増、同3.4%増)が最も大きく、以下「情報通信機械」108.3人(同3.5人増、同3.3%増)、「電子部品・デバイス」94.4人(同1.7人増、同1.8%増)、「業務用機械」91.2人(同23.6人増、同34.9%増)、「輸送機械」90.1人(同1.1人増、同1.2%増)、「電気機械」88.0人(同0.7人増、同0.8%増)の順となっており、「石油・石炭」の15.1人(同0.6人増、同4.1%増)が最小となっている。



4 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

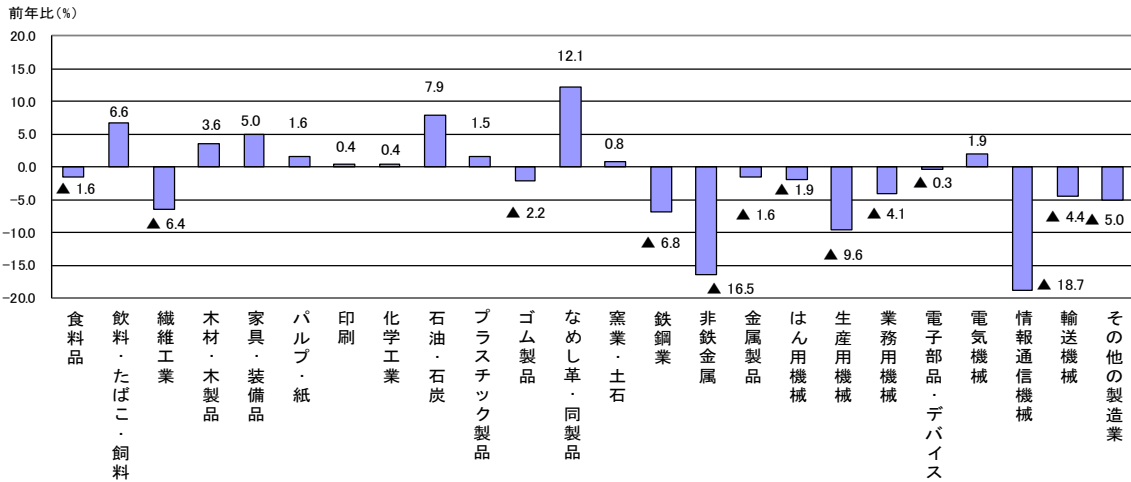
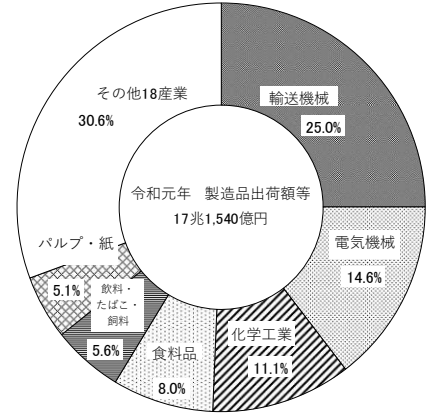
～製造品出荷額等は3年ぶりに減少～

製造品出荷額等は、17兆1,540億円で、前年より3,855億円減少（前年比2.2%減）している。

(1) 産業中分類別の状況

構成比は、「輸送機械」（25.0%）が最も大きく、以下「電気機械」（14.6%）、「化学工業」（11.1%）の順となっている。

前年比は、「なめし革・同製品」（12.1%増）、「石油・石炭」（7.9%増）、「飲料・たばこ・飼料」（6.6%増）等の11産業で増加したが、「情報通信機械」（18.7%減）、「非鉄金属」（16.5%減）、「生産用機械」（9.6%減）等の13産業で減少した。



産業中分類	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		
	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	16 132 178	100.0	16 787 113	100.0	17 539 461	100.0	17 153 997	100.0	-2.2
09 化学工業	11 211 547	69.5	11 844 287	70.6	12 505 024	71.3	12 064 920	70.3	-3.5
10 軽工業	4 920 632	30.5	4 942 826	29.4	5 034 437	28.7	5 089 077	29.7	1.1
09 食料品	1 307 949	8.1	1 371 182	8.2	1 392 069	7.9	1 369 890	8.0	-1.6
10 飲料・たばこ・飼料	1 019 660	6.3	918 228	5.5	905 513	5.2	965 404	5.6	6.6
11 繊維工業	107 256	0.7	111 614	0.7	118 490	0.7	110 861	0.6	-6.4
12 木材・木製品	213 705	1.3	214 573	1.3	203 442	1.2	210 794	1.2	3.6
13 家具・装備品	92 793	0.6	91 096	0.5	96 673	0.6	101 536	0.6	5.0
14 パルプ・紙	817 186	5.1	833 317	5.0	857 539	4.9	870 947	5.1	1.6
15 印刷	152 105	0.9	154 728	0.9	149 172	0.9	149 812	0.9	0.4
【16】化学工業	1 726 109	10.7	1 824 904	10.9	1 895 440	10.8	1 902 279	11.1	0.4
【17】石油・石炭	27 163	0.2	24 867	0.1	26 734	0.2	28 858	0.2	7.9
18 プラスチック製品	625 243	3.9	656 149	3.9	744 963	4.2	755 933	4.4	1.5
19 ゴム製品	207 355	1.3	184 985	1.1	195 887	1.1	191 571	1.1	-2.2
20 なめし革・同製品	5 716	0.0	6 378	0.0	6 884	0.0	7 716	0.0	12.1
21 窯業・土石	151 967	0.9	169 913	1.0	156 636	0.9	157 813	0.9	0.8
【22】鉄鋼業	209 495	1.3	222 889	1.3	233 974	1.3	217 968	1.3	-6.8
【23】非鉄金属	545 295	3.4	528 986	3.2	605 456	3.5	505 413	2.9	-16.5
【24】金属製品	515 314	3.2	540 666	3.2	591 125	3.4	581 938	3.4	-1.6
【25】はん用機械	331 369	2.1	323 679	1.9	330 119	1.9	324 003	1.9	-1.9
【26】生産用機械	779 140	4.8	877 901	5.2	944 733	5.4	853 850	5.0	-9.6
【27】業務用機械	264 737	1.6	261 313	1.6	271 252	1.5	260 246	1.5	-4.1
【28】電子部品・デバイス	282 979	1.8	304 223	1.8	324 078	1.8	323 245	1.9	-0.3
【29】電気機械	2 080 195	12.9	2 205 117	13.1	2 459 521	14.0	2 506 608	14.6	1.9
【30】情報通信機械	424 691	2.6	411 367	2.5	339 845	1.9	276 364	1.6	-18.7
【31】輸送機械	4 025 119	25.0	4 318 375	25.7	4 482 748	25.6	4 284 150	25.0	-4.4
【32】その他の製造業	219 696	1.4	230 663	1.4	207 169	1.2	196 800	1.1	-5.0

【】は重化学工業

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成比をみると、「大規模」(52.9%)が最も大きく、以下「中規模」(37.6%)、「小規模」(9.4%)の順となっている。

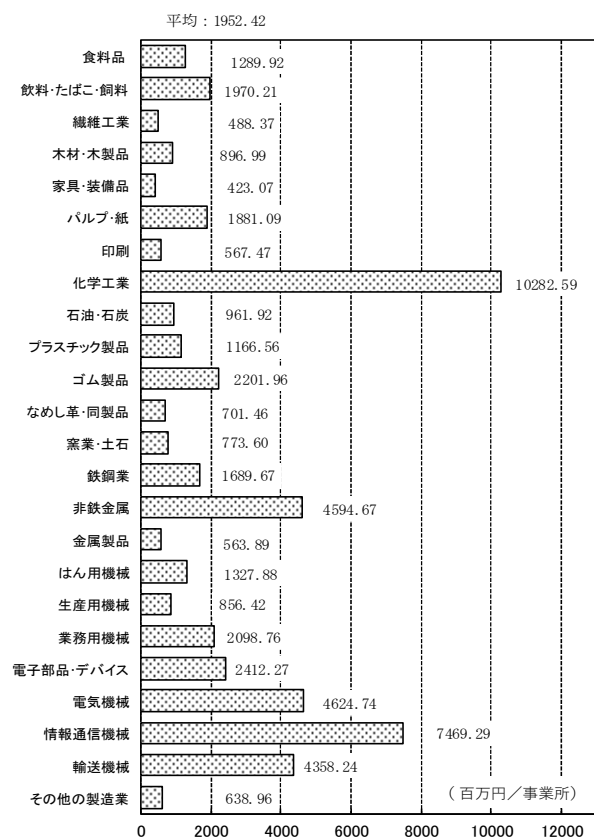
前年比は、「大規模」(0.4%増)では増加したが、「小規模」(0.9%減)及び「中規模」(5.9%減)では減少した。

年次	総数		小規模			中規模			大規模		
	製造品出荷額等 (百万円)	前年比 (%)	4～29人			30～299人			300人以上		
			製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
平成22年 (2010)	15 793 109	4.9	1 588 109	10.1	0.9	5 546 291	35.1	0.4	8 658 710	54.8	8.9
23 (2011)	14 949 739	-5.3	1 588 569	10.6	0.0	5 721 529	38.3	3.2	7 639 640	51.1	-11.8
24 (2012)	15 707 724	5.1	1 648 908	10.5	3.8	5 628 139	35.8	-1.6	8 430 677	53.7	10.4
25 (2013)	15 699 131	-0.1	1 604 345	10.2	-2.7	5 704 920	36.3	1.4	8 389 865	53.4	-0.5
26 (2014)	16 050 724	2.2	1 646 866	10.3	2.7	5 699 833	35.5	-0.1	8 704 025	54.2	3.7
27 (2015)	16 412 474	2.3	1 765 023	10.8	7.2	6 278 680	38.3	10.2	8 368 771	51.0	-3.9
28 (2016)	16 132 178	0.5	1 588 045	9.8	-10.0	6 294 236	39.0	10.4	8 249 897	51.1	-5.2
29 (2017)	16 787 113	4.1	1 632 874	9.7	2.8	6 449 976	38.4	2.5	8 704 263	51.9	5.5
30 (2018)	17 539 461	4.5	1 632 511	9.3	0.0	6 856 348	39.1	6.3	9 050 601	51.6	4.0
令和元年 (2019)	17 153 997	-2.2	1 618 384	9.4	-0.9	6 452 623	37.6	-5.9	9 082 990	52.9	0.4

(3) 1事業所当たりの状況

1事業所当たりの製造品出荷額等は、19億5,242万円(前年差402万円増、前年比0.2%増)となっている。

産業別では、「化学工業」の102億8,259万円(同1,872万円減、同0.2%減)が最も大きく、以下「情報通信機械」74億6,929万円(同10億2,683万円減、同12.1%減)、「電気機械」46億2,474万円(同1億356万円増、同2.3%増)、「非鉄金属」45億9,467万円(同11億7,158万円減、同20.3%減)、「輸送機械」43億5,824万円(同1億665万円減、同2.4%減)、「電子部品・デバイス」24億1,227万円(同1,169万円増、同0.5%増)の順となっており、「家具・装備品」の4億2,307万円(同2,194万円増、同5.5%増)が最小となっている。



(4) 産業3類型別の状況

構成比は、「加工組立型産業」(51.5%)が最も大きく、以下「基礎素材型産業」(31.6%)、「生活関連型産業」(16.9%)の順となっている。

前年比は、「生活関連型産業」(0.9%増)では増加したが、「基礎素材型産業」(1.6%減)、「加工組立型産業」(3.5%減)では減少した。

産業3類型	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		
	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	製造品出荷額等 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	16 132 178	100.0	16 787 114	100.0	17 539 461	100.0	17 153 997	100.0	-2.2
加工組立型産業	8 188 171	50.8	8 701 975	51.8	9 152 295	52.2	8 828 464	51.5	-3.5
基礎素材型産業	5 038 832	31.2	5 201 250	31.0	5 511 195	31.4	5 423 514	31.6	-1.6
生活関連型産業	2 905 175	18.0	2 883 889	17.2	2 875 971	16.4	2 902 019	16.9	0.9

5 粗付加価値額（従業員4人以上の事業所）

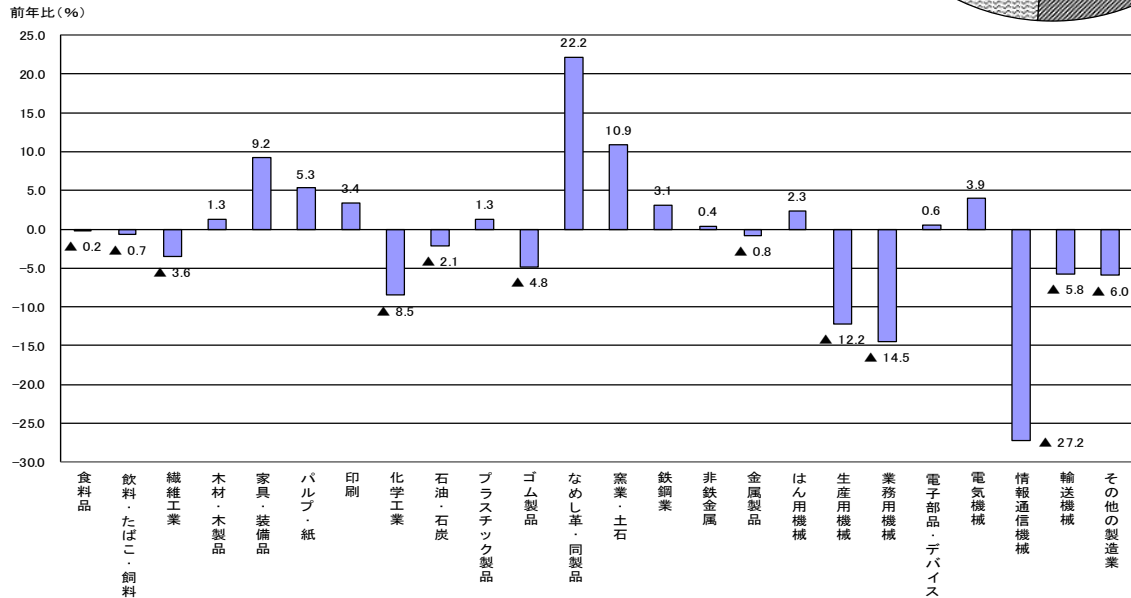
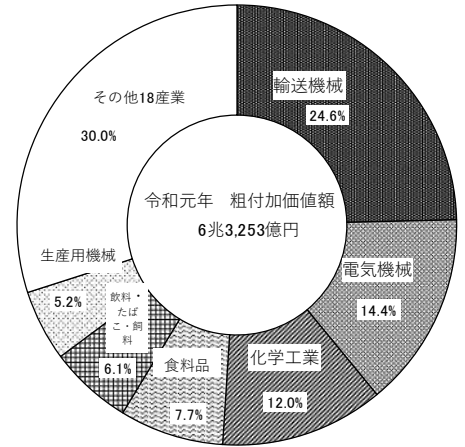
～粗付加価値額は5年ぶりに減少～

粗付加価値額は、6兆3,253億円で、前年より2,027億円減少（前年比3.1%減）している。

(1) 産業中分類別の状況

構成比は、「輸送機械」（24.6%）が最も大きく、以下「電気機械」（14.4%）、「化学工業」（12.0%）の順となっている。

前年比は、「なめし革・同製品」（22.2%増）、「窯業・土石」（10.9%増）、「家具・装備品」（9.2%増）等の12産業で増加したが、「情報通信機械」（27.2%減）、「業務用機械」（14.5%減）、「生産用機械」（12.2%減）等の12産業で減少した。



産業中分類	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		前年比 (%)
	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	
総重軽工業	6 166 799	100.0	6 357 133	100.0	6 527 944	100.0	6 325 262	100.0	-3.1
化学工業	4 206 251	68.2	4 426 467	69.6	4 607 762	70.6	4 388 861	69.4	-4.8
軽工業	1 960 548	31.8	1 930 666	30.4	1 920 182	29.4	1 936 400	30.6	0.8
09 食料	485 606	7.9	494 939	7.8	486 263	7.4	485 182	7.7	-0.2
10 飲料・たばこ・飼料	436 940	7.1	401 174	6.3	388 986	6.0	386 450	6.1	-0.7
11 繊維工業	45 521	0.7	48 067	0.8	50 677	0.8	48 873	0.8	-3.6
12 木材・木製品	73 193	1.2	70 601	1.1	60 061	0.9	60 850	1.0	1.3
13 家具・装備品	36 932	0.6	35 714	0.6	38 255	0.6	41 786	0.7	9.2
14 パルプ・紙	299 768	4.9	289 769	4.6	285 366	4.4	300 389	4.7	5.3
15 印刷	64 209	1.0	66 543	1.0	59 634	0.9	61 661	1.0	3.4
【16】化学工業	821 487	13.3	868 027	13.7	832 176	12.7	761 117	12.0	-8.5
【17】石油・石炭	9 580	0.2	7 569	0.1	7 987	0.1	7 819	0.1	-2.1
18 プラスチック製品	224 271	3.6	234 919	3.7	286 031	4.4	289 672	4.6	1.3
19 ゴム製品	116 102	1.9	96 459	1.5	99 920	1.5	95 103	1.5	-4.8
20 なめし革・同製品	2 067	0.0	2 159	0.0	1 899	0.0	2 320	0.0	22.2
21 窯業・土石	69 494	1.1	79 466	1.3	64 052	1.0	71 002	1.1	10.9
【22】鉄鋼業	51 713	0.8	43 505	0.7	42 937	0.7	44 265	0.7	3.1
【23】非鉄金属	147 713	2.4	122 458	1.9	123 246	1.9	123 769	2.0	0.4
【24】金属製品	215 256	3.5	216 761	3.4	230 489	3.5	228 741	3.6	-0.8
【25】はん用機械	105 982	1.7	100 642	1.6	102 506	1.6	104 869	1.7	2.3
【26】生産用機械	305 894	5.0	344 995	5.4	375 814	5.8	329 934	5.2	-12.2
【27】業務用機械	129 925	2.1	111 686	1.8	115 281	1.8	98 514	1.6	-14.5
【28】電子部品・デバイス	125 714	2.0	140 514	2.2	147 569	2.3	148 391	2.3	0.6
【29】電気機械	754 546	12.2	796 296	12.5	876 296	13.4	910 665	14.4	3.9
【30】情報通信機械	93 467	1.5	78 943	1.2	101 751	1.6	74 048	1.2	-27.2
【31】輸送機械	1 444 973	23.4	1 595 070	25.1	1 651 709	25.3	1 556 730	24.6	-5.8
32 その他の製造業	106 446	1.7	110 858	1.7	99 040	1.5	93 113	1.5	-6.0

【 】は重化学工業

(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別の構成比をみると、「大規模」(51.5%)が最も大きく、以下「中規模」(38.2%)、「小規模」(10.3%)の順となっている。

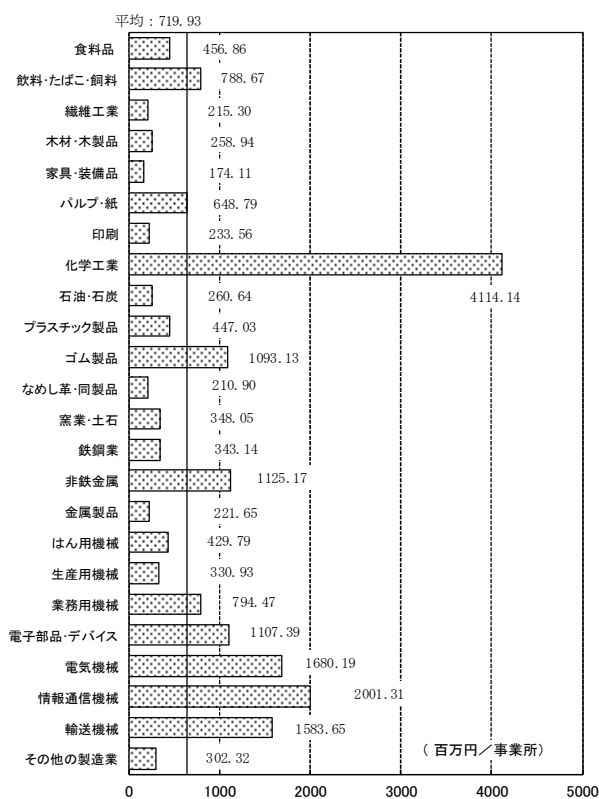
前年比は、「小規模」(0.4%減)、「大規模」(2.2%減)、「中規模」(5.0%減)のいずれも減少した。

年次	総数		小規模			中規模			大規模		
	粗付加価値額 (百万円)	前年比 (%)	4～29人			30～299人			300人以上		
			粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
平成22年 (2010)	5 982 464	4.0	662 397	11.1	-0.5	2 149 877	35.9	3.3	3 170 190	53.0	5.5
23 (2011)	5 651 737	-5.5	702 664	12.4	6.1	2 194 208	38.8	2.1	2 754 865	48.7	-13.1
24 (2012)	5 903 797	4.5	680 160	11.5	-3.2	2 095 240	35.5	-4.5	3 128 398	53.0	13.6
25 (2013)	5 993 632	1.5	648 375	10.8	-4.7	2 134 962	35.6	1.9	3 210 295	53.6	2.6
26 (2014)	5 908 799	-1.4	653 821	11.1	0.8	2 067 528	35.0	-3.2	3 187 450	53.9	-0.7
27 (2015)	6 146 591	4.0	715 663	11.6	9.5	2 374 205	38.6	14.8	3 056 723	49.7	-4.1
28 (2016)	6 166 799	0.3	645 744	10.5	-9.8	2 492 171	40.4	5.0	3 028 883	49.1	-0.9
29 (2017)	6 357 133	3.1	655 414	10.3	1.5	2 535 338	39.9	1.7	3 166 381	49.8	4.5
30 (2018)	6 527 944	2.7	652 062	10.0	-0.5	2 545 580	39.0	0.4	3 330 302	51.0	5.2
令和元年 (2019)	6 325 262	-3.1	649 437	10.3	-0.4	2 418 479	38.2	-5.0	3 257 345	51.5	-2.2

(3) 1事業所当たりの状況

1事業所当たりの粗付加価値額は、7億1,993万円(前年差524万円減、前年比0.7%減)となっている。

産業別では、「化学工業」の41億1,414万円(同4億855万円減、同9.0%減)が最も大きく、以下「情報通信機械」20億131万円(同5億4,246万円減、同21.3%減)、「電気機械」16億8,019万円(同6,935万円増、同4.3%増)、「輸送機械」15億8,365万円(6,148万円減、同3.7%減)、「非鉄金属」11億2,517万円(同4,860万円減、同4.1%減)、「電子部品・デバイス」11億739万円(1,428万円増、同1.3%増)の順となっており、「家具・装備品」の1億7,411万円(同1,538万円増、同9.7%増)が最小となっている。



(4) 産業3類型別の状況

構成比は、「加工組立型産業」(51.0%)が最も大きく、以下「基礎素材型産業」(31.3%)、「生活関連型産業」(17.7%)の順となっている。

前年比は、「生活関連型産業」(0.5%減)、「基礎素材型産業」(2.4%減)、「加工組立型産業」(4.4%減)のいずれも減少した。

産業3類型	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		
	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	粗付加価値額 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	6 166 799	100.0	6 357 133	100.0	6 527 944	100.0	6 325 262	100.0	-3.1
加工組立型産業	2 960 502	48.0	3 168 146	49.8	3 370 926	51.6	3 223 150	51.0	-4.4
基礎素材型産業	2 028 577	32.9	2 029 534	31.9	2 032 265	31.1	1 982 727	31.3	-2.4
生活関連型産業	1 177 720	19.1	1 159 453	18.2	1 124 753	17.2	1 119 385	17.7	-0.5

6 現金給与総額（従業者4人以上の事業所）

～24産業中15産業で増加～

現金給与総額は、1兆9,513億円で、前年より151億円増加している。

（1）産業中分類別の状況

産業別の構成比をみると、「輸送機械」（25.1%）が最も大きく、以下「電気機械」（13.0%）、「生産用機械」（7.7%）の順となっている。

前年比は、「業務用機械」（41.1%増）、「なめし革・同製品」（12.2%増）、「鉄鋼業」（4.5%増）等の15産業では増加したが、「その他の製造業」（5.5%減）、「窯業・土石」（3.4%減）、「情報通信機械」（3.3%減）等の9産業では減少した。

（2）現金給与率（従業者30人以上の事業所）の状況

現金給与率は、11.6%で前年より0.4ポイント増加している。

産業別にみると、高い産業は、「業務用機械」（21.6%）、「ゴム製品」（19.9%）、「印刷」（19.8%）等となっている。

一方、低い産業は、「飲料・たばこ・飼料」（4.9%）、「化学工業」（7.4%）、「石油・石炭」（7.4%）等となっている。

（3）常用労働者1人当たりの現金給与総額の状況

常用労働者1人当たりの現金給与総額は、473万円（前年比0.9%増）となっている。

産業別にみると、「情報通信機械」の650万円が最も高く、「食料品」の321万円が最も低くなっている。

産業中分類別の現金給与総額（従業者4人以上の事業所）等

産業中分類	現金給与総額			※現金給与率	常用労働者1人当たりの現金給与総額	
	令和元年 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	令和元年 (%)	令和元年 (万円)	前年比 (%)
総計	1 951 342	100.0	0.8	11.6	473	0.9
重工業	1 380 107	70.7	1.0	11.4	522	0.6
軽工業	571 234	29.3	0.3	12.0	386	1.3
09 食料品	146 332	7.5	-0.4	11.2	321	1.3
10 飲料・たばこ・飼料	43 729	2.2	0.4	4.9	379	0.3
11 繊維工業	19 171	1.0	-2.3	17.5	370	0.8
12 木材・木製品	18 406	0.9	1.0	9.6	422	2.2
13 家具・装備品	16 156	0.8	2.7	15.4	361	-0.8
14 パルプ・紙	84 633	4.3	1.1	9.8	448	0.0
15 印刷	30 191	1.5	-2.9	19.8	372	-8.4
【16】化学工業	133 558	6.8	1.1	7.4	557	-3.0
【17】石油・石炭	2 306	0.1	0.5	7.4	509	-0.6
18 プラスチック製品	114 450	5.9	4.0	15.6	404	1.3
19 ゴム製品	35 750	1.8	2.0	19.9	495	11.2
20 なめし革・同製品	1 203	0.1	12.2	16.6	421	24.6
21 窯業・土石	23 023	1.2	-3.4	16.5	469	4.0
【22】鉄鋼業	17 920	0.9	4.5	9.2	495	5.5
【23】非鉄金属	38 747	2.0	1.0	7.6	541	1.9
【24】金属製品	101 973	5.2	0.8	17.3	418	2.2
【25】はん用機械	56 433	2.9	-1.5	17.1	527	5.2
【26】生産用機械	149 752	7.7	-2.0	17.2	501	0.8
【27】業務用機械	53 757	2.8	41.1	21.6	476	7.2
【28】電子部品・デバイス	56 711	2.9	-2.7	17.8	448	-3.9
【29】電気機械	253 179	13.0	0.1	10.5	531	-0.4
【30】情報通信機械	26 026	1.3	-3.3	10.9	650	1.1
【31】輸送機械	489 746	25.1	0.1	11.3	553	0.9
【32】その他の製造業	38 190	2.0	-5.5	19.5	414	1.2

【 】は重化学工業

※現金給与率は、従業者30人以上の事業所についてのものである。

7 原材料使用額等（従業者4人以上の事業所）

～24産業のうち9産業で増加～

原材料使用額等は、10兆3,152億円で、前年より2,371億円減少（前年比2.2%減）している。

（1）産業中分類別の状況

産業別の構成比をみると、「輸送機械」（26.2%）が最も大きく、以下「電気機械」（14.9%）、「化学工業」（10.7%）の順となっている。

前年比は、「石油・石炭」（12.5%増）、「化学工業」（7.8%増）、「なめし革・同製品」（7.6%増）等の9産業では増加したが、「非鉄金属」（21.1%減）、「情報通信機械」（14.7%減）、「鉄鋼業」（9.3%減）の15産業では減少した。

（2）原材料率（従業者30人以上の事業所）の状況

原材料率は、61.4%で前年より0.1ポイント上昇している。

産業別にみると、高い産業は、「鉄鋼業」（79.8%）、「石油・石炭」（79.1%）等となっている。

一方、低い産業は、「飲料・たばこ・飼料」（42.1%）、「窯業・土石」（46.5%）等となっている。

産業中分類別の原材料使用額等（従業者4人以上の事業所）等

産業中分類	原材料使用額等			※原材料率
	令和元年 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	令和元年 (%)
総数	10 315 171	100.0	-2.2	61.4
重化学工業	7 509 621	72.8	-2.6	62.9
軽工業	2 805 551	27.2	-1.3	57.2
09 食料品	850 077	8.2	-2.4	62.0
10 飲料・たばこ・飼料	336 017	3.3	-2.7	42.1
11 繊維工業	58 802	0.6	-8.8	53.2
12 木材・木製品	145 017	1.4	4.4	63.7
13 家具・装備品	56 596	0.5	1.7	58.9
14 パルプ・紙	550 291	5.3	-0.7	63.5
15 印刷	83 910	0.8	-1.8	59.4
【16】化学工業	1 104 685	10.7	7.8	56.4
【17】石油・石炭	20 408	0.2	12.5	79.1
18 プラスチック製品	447 942	4.3	1.6	60.0
19 ゴム製品	89 261	0.9	0.1	46.8
20 なめし革・同製品	5 198	0.1	7.6	77.1
21 窯業・土石	82 297	0.8	-8.1	46.5
【22】鉄鋼業	172 081	1.7	-9.3	79.8
【23】非鉄金属	374 779	3.6	-21.1	77.6
【24】金属製品	336 531	3.3	-2.4	62.0
【25】はん用機械	214 177	2.1	-3.6	70.5
【26】生産用機械	512 715	5.0	-7.7	63.1
【27】業務用機械	158 920	1.5	4.4	63.4
【28】電子部品・デバイス	173 890	1.7	-0.8	52.6
【29】電気機械	1 540 520	14.9	0.6	61.8
【30】情報通信機械	198 919	1.9	-14.7	73.6
【31】輸送機械	2 701 998	26.2	-3.1	63.7
32 その他の製造業	100 143	1.0	-3.6	51.8

【 】は重化学工業

※原材料率は、従業者30人以上の事業所についてのものである。

8 在庫額（従業員30人以上の事業所）

～24産業中15産業で年初比増加～

年末在庫額は、1兆5,745億円で、年初額より570億円増加（年初比3.8%増）している。

（1）年末在庫（総額）の産業別の状況

産業別の構成比をみると、「化学工業」（23.0%）が最も大きく、以下「輸送機械」（13.5%）、「電気機械」（12.0%）、「生産用機械」（9.5%）の順となっている。

年初比をみると、「化学工業」（13.1%増）、「電子部品・デバイス」（9.5%増）、「印刷」（7.9%増）等15産業で増加したが、「はん用機械」（12.3%減）、「非鉄金属」（8.9%減）、「なめし革・同製品」（8.7%減）等の9産業で減少した。

（2）年末在庫の内訳別の状況

「製造品」が534億円増（年初比10.4%増）、「半製品及び仕掛品」が21億円減（同0.4%減）、「原材料及び燃料」が56億円増（同1.2%増）となっている。

産業中分類別の在庫額（従業員30人以上の事業所）

産業中分類	総額				製造品			半製品及び仕掛品			原材料及び燃料		
	年初(A) (百万円)	年末(B) (百万円)	構成比 (%)	(B)/(A) (%)	年初(A) (百万円)	年末(B) (百万円)	(B)/(A) (%)	年初(A) (百万円)	年末(B) (百万円)	(B)/(A) (%)	年初(A) (百万円)	年末(B) (百万円)	(B)/(A) (%)
総数	517,477	574,466	100.0	103.8	511,085	564,488	110.4	518,608	516,551	99.6	487,783	493,427	101.2
09 食料品	96,886	97,462	6.2	100.6	39,123	40,722	104.1	13,032	12,940	99.3	44,730	43,799	97.9
10 飲料・たばこ・飼料	70,312	69,008	4.4	98.1	31,897	31,212	97.9	14,190	14,876	104.8	24,225	22,920	94.6
11 繊維工業	7,955	8,374	0.5	105.3	3,786	4,180	110.4	1,275	1,206	94.6	2,894	2,988	103.2
12 木材・木製品	10,549	10,739	0.7	101.8	4,852	4,939	101.8	1,646	2,139	129.9	4,051	3,662	90.4
13 家具・装備品	5,558	5,631	0.4	101.3	2,323	2,317	99.7	814	912	112.1	2,421	2,402	99.2
14 パルプ・紙	82,036	81,257	5.2	99.0	40,304	41,222	102.3	12,113	10,019	82.7	29,619	30,015	101.3
15 印刷	11,225	12,109	0.8	107.9	3,788	3,952	104.4	2,787	2,932	105.2	4,650	5,225	112.4
【16】化学工業	319,720	361,487	23.0	113.1	98,069	128,352	130.9	89,911	99,652	110.8	131,741	133,483	101.3
【17】石油・石炭	1,105	1,047	0.1	94.7	355	349	98.4	73	73	100.2	678	625	92.3
18 プラスチック製品	69,513	72,197	4.6	103.9	34,743	36,298	104.5	13,005	13,616	104.7	21,766	22,283	102.4
19 ゴム製品	9,396	9,661	0.6	102.8	3,884	3,880	99.9	3,239	3,462	106.9	2,273	2,319	102.0
20 なめし革・同製品	541	494	0.0	91.3	369	355	96.2	34	40	117.2	138	99	71.8
21 窯業・土石	15,599	15,820	1.0	101.4	6,472	6,322	97.7	5,972	6,151	103.0	3,155	3,348	106.1
【22】鉄鋼業	14,409	15,244	1.0	105.8	7,294	7,671	105.2	1,569	1,622	103.4	5,546	5,951	107.3
【23】非鉄金属	47,888	43,608	2.8	91.1	18,430	17,716	96.1	19,348	16,977	87.7	10,110	8,916	88.2
【24】金属製品	41,448	43,354	2.8	104.6	15,262	15,851	103.9	14,944	15,088	101.0	11,242	12,415	110.4
【25】はん用機械	35,668	31,296	2.0	87.7	7,022	6,366	90.6	18,229	15,439	84.7	10,417	9,492	91.1
【26】生産用機械	149,576	148,820	9.5	99.5	28,544	31,324	109.7	82,462	78,063	94.7	38,569	39,432	102.2
【27】業務用機械	32,164	34,004	2.2	105.7	7,395	8,365	113.1	11,945	11,401	95.4	12,824	14,239	111.0
【28】電子部品・デバイス	43,788	47,936	3.0	109.5	5,441	5,893	108.3	23,349	25,750	110.3	14,998	16,292	108.6
【29】電気機械	189,535	188,742	12.0	99.6	48,293	54,092	112.0	88,426	81,893	92.6	52,817	52,757	99.9
【30】情報通信機械	37,319	35,171	2.2	94.2	12,622	10,778	85.4	7,297	7,739	106.1	17,400	16,654	95.7
【31】輸送機械	198,859	213,316	13.5	107.3	80,581	91,196	113.2	86,082	87,756	101.9	32,196	34,364	106.7
32 その他の製造業	26,427	27,688	1.8	104.8	10,236	11,138	108.8	6,866	6,804	99.1	9,324	9,745	104.5

【】は重化学工業

9 生産額（従業者30人以上の事業所）

～24産業中12産業で増加～

生産額は、14兆9,133億円で、前年より3,364億円減少（前年比2.2%減少）している。

（1）産業中分類別の状況

産業別の構成比をみると、「輸送機械」（27.5%）が最も大きく、以下「電気機械」（15.5%）、「化学工業」（11.8%）の順となっている。

前年比は、「なめし革・同製品」（13.4%増）、「窯業・土石」（10.6%）、「飲料・たばこ・飼料」（9.4%増）等の12産業で増加したが、「非鉄金属」（19.2%減）、「生産用機械」（13.7%減）、「情報通信機械」（6.5%減）の12産業で減少した。

（2）1事業所当たりの生産額の状況

1事業所当たりの生産額は、63億4,610万円（前年比0.7%減）となっている。

産業別にみると、高い産業は「情報通信機械」（165億1,190万円）、「化学工業」（160億4,905万円）、「飲料・たばこ・飼料」（135億2,683万円）等となっている。

一方、低い産業は「なめし革・同製品」（18億9,310万円）、「金属製品」（19億4,888万円）、「繊維工業」（21億4,800万円）等となっている。

産業中分類別の生産額、1事業所当たりの生産額（従業者30人以上の事業所）

産業中分類	生産額			1事業所当たりの生産額	
	令和元年 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	令和元年 (万円)	前年比 (%)
総数	14 913 338	100.0	-2.2	634 610	-0.7
09 食料品	1 095 940	7.3	-3.1	353 529	1.0
10 飲料・たばこ・飼料	825 137	5.5	9.4	1 352 683	14.7
11 繊維工業	79 476	0.5	-3.8	214 800	-3.8
12 木材・木製品	121 243	0.8	3.4	551 106	8.1
13 家具・装備品	66 561	0.4	6.3	237 719	2.5
14 パルプ・紙	725 083	4.9	0.6	426 520	-1.2
15 印刷	118 767	0.8	1.2	219 938	-0.7
【16】化学工業	1 765 396	11.8	0.8	1 604 905	0.8
【17】石油・石炭	10 755	0.1	-2.3	268 887	-2.3
18 プラスチック製品	643 549	4.3	2.0	295 206	1.6
19 ゴム製品	174 291	1.2	-3.6	601 005	3.0
20 なめし革・同製品	5 679	0.0	13.4	189 310	13.4
21 窯業・土石	83 705	0.6	10.6	310 020	14.7
【22】鉄鋼業	132 299	0.9	0.4	357 564	-2.3
【23】非鉄金属	457 314	3.1	-19.2	1 306 613	-19.2
【24】金属製品	366 389	2.5	-5.4	194 888	-2.3
【25】はん用機械	280 502	1.9	-3.5	452 422	-5.1
【26】生産用機械	628 145	4.2	-13.7	318 855	-11.1
【27】業務用機械	234 903	1.6	-5.8	499 793	2.2
【28】電子部品・デバイス	306 098	2.1	0.2	485 870	-1.4
【29】電気機械	2 305 862	15.5	1.9	1 253 186	-0.9
【30】情報通信機械	231 167	1.6	-6.5	1 651 190	0.1
【31】輸送機械	4 101 080	27.5	-4.1	1 033 018	-2.1
32 その他の製造業	153 996	1.0	-5.9	290 558	2.9

【 】は重化学工業

1.0 付加価値額（従業者30人以上の事業所）

～24産業中11産業で増加～

付加価値額は、5兆2,406億円で、前年より2,221億円減少（前年比4.1%減）している。

（1）産業中分類別の状況

産業別の構成比をみると、「輸送機械」（25.9%）が最も大きく、以下「電気機械」（15.7%）、「化学工業」（13.7%）の順となっている。

前年比は、「窯業・土石」（27.4%増）、「なめし革・同製品」（18.1%増）、「家具・装備品」（13.1%増）等の11産業で増加したが、「情報通信機械」（33.0%減）、「生産用機械」（19.6%減）、「業務用機械」（18.5%減）等の13産業で減少した。

（2）付加価値率の状況

付加価値率は36.3%で、前年より0.5ポイント減少している。

産業別にみると、高い産業は、「飲料・たばこ・飼料」（55.3%）、「ゴム製品」（50.7%）、「窯業・土石」（47.0%）、「その他の製造業」（46.7%）等となっている。

一方、低い産業は、「鉄鋼業」（20.8%）、「非鉄金属」（21.0%）等となっている。

（3）1事業所当たりの付加価値額の状況

1事業所当たりの付加価値額は、22億3,002万円（前年比2.6%減）となっている。

産業別にみると、高い産業は、「化学工業」（65億2,844万円）、「飲料・たばこ・飼料」（53億2,348万円）等となっている。

一方、低い産業は、「なめし革・同製品」（4億4,847万円）、「石油・石炭」（6億3,492万円）等となっている。

産業中分類別の付加価値額、付加価値率等（従業者30人以上の事業所）

産業中分類	付加価値額			付加価値率		1事業所当たりの付加価値額	
	令和元年 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)	令和元年 (%)	令和元年 (万円)	前年比 (%)	
総数	5 240 552	100.0	-4.1	36.3	223 002	-2.6	
09 食料品	384 233	7.3	-0.7	36.0	123 946	3.5	
10 飲料・たばこ・飼料	324 732	6.2	-1.0	55.3	532 348	3.9	
11 繊維工業	33 864	0.6	7.2	43.9	91 526	7.2	
12 木材・木製品	43 916	0.8	4.1	37.4	199 620	8.8	
13 家具・装備品	28 611	0.5	13.1	44.4	102 183	9.0	
14 パルプ・紙	227 212	4.3	6.6	32.1	133 654	4.7	
15 印刷業	42 671	0.8	7.2	36.9	79 020	5.2	
【16】化学工業	718 128	13.7	-6.7	41.5	652 844	-6.7	
【17】石油・石炭	2 540	0.0	-15.0	24.1	63 492	-15.0	
18 プラスチック製品	228 673	4.4	3.3	36.4	104 896	2.8	
19 ゴム製品	84 892	1.6	-7.2	50.7	292 732	-0.8	
20 なめし革・同製品	1 345	0.0	18.1	24.2	44 847	18.1	
21 窯業・土石	38 305	0.7	27.4	47.0	141 871	32.1	
【22】鉄鋼業	27 437	0.5	1.7	20.8	74 153	-1.0	
【23】非鉄金属	94 804	1.8	-6.8	21.0	270 870	-6.8	
【24】金属製品	126 827	2.4	-7.3	35.5	67 461	-4.4	
【25】はん用機械	76 487	1.5	-4.8	27.6	123 366	-6.4	
【26】生産用機械	230 282	4.4	-19.6	36.9	116 894	-17.1	
【27】業務用機械	80 777	1.5	-18.5	34.7	171 865	-11.5	
【28】電子部品・デバイス	128 940	2.5	0.7	42.2	204 666	-0.9	
【29】電気機械	820 653	15.7	1.6	36.4	446 007	-1.2	
【30】情報通信機械	66 217	1.3	-33.0	29.1	472 977	-28.2	
【31】輸送機械	1 358 107	25.9	-5.6	33.3	342 092	-3.7	
32 その他の製造業	70 900	1.4	-4.7	46.7	133 773	4.2	

【 】は重化学工業

1.1 有形固定資産投資総額（従業者30人以上の事業所）

～24産業中15産業で増加～

有形固定資産投資総額は、6,866億円で、前年より534億円増加（前年比8.4%増）となっている。

有形固定資産投資総額（有形固定資産取得額＋建設仮勘定増減額）の産業中分類別の構成比をみると、「輸送機械」（26.0%）が最も大きく、以下「電気機械」（14.4%）、「化学工業」（11.9%）、「食料品」（6.3%）の順となっている。

前年比は、「はん用機械」（112.8%増）、「印刷」（71.1%増）等の15産業で増加したが、「窯業・土石」（56.4%減）、「なめし革・同製品」（50.1%減）等の9産業で減少した。

有形固定資産投資純増額（有形固定資産投資総額－除却額）は、6,176億円（前年比7.5%増）であった。

産業中分類別の有形固定資産投資総額等（従業者30人以上の事業所）

産業中分類	有形固定資産 取得額 (百万円)	建設仮勘定 増減額 (百万円)	有形固定資産投資総額			除却額 (百万円)	有形固定資産 投資純増額 (百万円)
			令和元年 (百万円)	構成比 (%)	前年比 (%)		
総数	632,938	53,615	686,554	100.0	8.4	68,950	617,603
09 食料品	41,851	1,733	43,584	6.3	-0.3	3,140	40,445
10 飲料・たばこ・飼料	17,769	-498	17,272	2.5	-42.8	798	16,474
11 繊維工業	10,454	-2,608	7,846	1.1	15.7	258	7,588
12 木材・木製品	2,410	-272	2,138	0.3	-29.9	605	1,533
13 家具・装備品	2,445	45	2,489	0.4	57.4	373	2,116
14 パルプ・紙	44,058	-1,807	42,251	6.2	1.1	4,777	37,474
15 印刷	5,528	442	5,970	0.9	71.1	380	5,590
【16】化学工業	78,014	3,531	81,545	11.9	14.0	9,167	72,378
【17】石油・石炭	198	0	197	0.0	-2.1	1	197
18 プラスチック製品	37,512	3,886	41,399	6.0	1.2	3,582	37,817
19 ゴム製品	6,945	551	7,496	1.1	-37.6	337	7,158
20 なめし革・同製品	4	-	4	0.0	-50.1	3	1
21 窯業・土石	2,475	1,924	4,399	0.6	-56.4	10,686	-6,287
【22】鉄鋼業	4,007	22	4,029	0.6	2.4	189	3,840
【23】非鉄金属	29,170	5,421	34,591	5.0	63.6	629	33,962
【24】金属製品	14,447	259	14,706	2.1	-24.0	2,422	12,284
【25】はん用機械	12,659	5,865	18,524	2.7	112.8	1,199	17,325
【26】生産用機械	24,712	167	24,879	3.6	15.5	2,894	21,985
【27】業務用機械	10,258	2,801	13,059	1.9	13.7	1,036	12,023
【28】電子部品・デバイス	22,464	6,224	28,688	4.2	19.4	2,008	26,680
【29】電気機械	82,291	16,290	98,582	14.4	18.7	3,693	94,889
【30】情報通信機械	7,566	-609	6,957	1.0	63.5	531	6,426
【31】輸送機械	168,446	9,848	178,294	26.0	10.1	20,086	158,207
32 その他の製造業	7,254	400	7,655	1.1	-9.1	157	7,498

【 】は重化学工業

1.2 工業用地（従業者30人以上の事業所）

～敷地面積は24産業中10産業で増加～

従業者30人以上の事業所の敷地面積は、5,848万㎡（前年比0.1%減）となっている。

産業中分類別の構成比をみると、「輸送機械」（24.3%）が最も大きく、以下「化学工業」（10.3%）、「パルプ・紙」（7.5%）の順となっている。

前年比は、「印刷」（16.2%増）、「プラスチック製品」（11.2%増）、「電子部品・デバイス」（7.6%増）等の10産業で増加したが、「窯業・土石」（7.2%減）、「パルプ・紙」（6.0%減）、「情報通信機械」（5.1%減）、「その他の製造業」（3.6%減）等14産業で減少した。

産業中分類別の敷地面積（従業者30人以上の事業所）

産業中分類	敷地面積			
	平成30年 (㎡)	令和元年 (㎡)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	58 560 142	58 482 067	100.0	-0.1
09 食料品	4 019 182	3 995 848	6.8	-0.6
10 飲料・たばこ・飼料	1 879 529	1 849 553	3.2	-1.6
11 繊維工業	1 028 779	1 021 302	1.7	-0.7
12 木材・木製品	835 145	833 647	1.4	-0.2
13 家具・装備品	406 384	426 148	0.7	4.9
14 パルプ・紙	4 658 120	4 379 448	7.5	-6.0
15 印刷	509 346	591 949	1.0	16.2
【16】化学工業	6 208 852	6 027 717	10.3	-2.9
【17】石油・石炭	99 884	102 749	0.2	2.9
18 プラスチック製品	3 816 541	4 243 260	7.3	11.2
19 ゴム製品	875 083	871 876	1.5	-0.4
20 なめし革・同製品	6 387	6 532	0.0	2.3
21 窯業・土石	1 592 917	1 478 608	2.5	-7.2
【22】鉄鋼	857 693	881 468	1.5	2.8
【23】非鉄金属	2 275 101	2 315 290	4.0	1.8
【24】金属製品	2 434 064	2 410 273	4.1	-1.0
【25】はん用機械	1 534 918	1 572 477	2.7	2.4
【26】生産用機械	4 147 103	4 099 814	7.0	-1.1
【27】業務用機械	828 397	819 978	1.4	-1.0
【28】電子部品・デバイス	855 128	919 915	1.6	7.6
【29】電気機械	4 139 407	4 039 383	6.9	-2.4
【30】情報通信機械	321 737	305 179	0.5	-5.1
【31】輸送機械	14 116 599	14 216 041	24.3	0.7
32 その他の製造業	1 113 846	1 073 612	1.8	-3.6

【 】は重化学工業

1.3 工業用水（従業者30人以上の事業所）

～工業用水使用量は前年比3.0%減～

従業者30人以上の事業所の1日当たりの工業用水使用量は、177万³m（前年比3.0%減）となっている。

（1）産業中分類別の構成比の状況

「パルプ・紙」（50.9%）が最も大きく、以下「化学工業」（12.6%）、「プラスチック製品」（8.4%）の順となっている。

（2）水源別の構成比の状況

「井戸水」（54.9%）が最も大きく、以下「工業用水道」（25.1%）、「その他の淡水」（16.4%）の順となっている。

産業中分類別の1日当たり工業用水使用量（従業者30人以上の事業所）

産業中分類	合計		
	令和元年 (m ³)	構成比 (%)	前年比 (%)
総数	1 773 583	100.0	-3.0
09 食料・たばこ・飼料	115 642	6.5	-6.2
10 飲料	57 041	3.2	-2.8
11 繊維工業	80 654	4.5	0.2
12 木材・木製品	2 676	0.2	5.9
13 家具・装備品	504	0.0	3.5
14 パルプ・紙	903 422	50.9	-4.3
15 印刷	1 867	0.1	48.6
【16】化学工業	223 855	12.6	0.3
【17】石油・石炭	121	0.0	3.4
18 プラスチック製品	148 194	8.4	6.7
19 ゴム製品	5 999	0.3	0.8
20 なめし革・同製品	5	0.0	0.0
21 窯業・土石	32 040	1.8	-0.1
【22】鉄鋼業	1 793	0.1	2.9
【23】非鉄金属	63 814	3.6	-6.0
【24】金属製品	16 898	1.0	-1.9
【25】はん用機械	5 532	0.3	-4.6
【26】生産用機械	11 298	0.6	-10.3
【27】業務用機械	7 702	0.4	-1.6
【28】電子部品・デバイス	8 512	0.5	-16.2
【29】電気機械	24 321	1.4	-6.1
【30】情報通信機械	347	0.0	4.8
【31】輸送機械	54 596	3.1	-10.7
32 その他の製造業	6 750	0.4	12.0

【】は重化学工業
※平成29年工業統計調査から「回収水」及び「海水」は調査項目から廃止された。

水源別の1日当たり工業用水使用量（従業者30人以上の事業所）

水	源	平成30年 (m ³)	令和元年 (m ³)	構成比 (%)	前年比 (%)
総	数	1 827 740	1 773 583	100.0	-3.0
淡	水	1 827 740	1 773 583	100.0	-3.0
工	業用水道	510 667	444 446	25.1	-13.0
上	水道	66 865	64 169	3.6	-4.0
井	戸水	983 439	974 557	54.9	-0.9
そ	他の淡水	266 769	290 411	16.4	8.9

※平成29年工業統計調査から「回収水」及び「海水」は調査項目から廃止された。

1.4 市町別の状況（従業者4人以上の事業所）

～製造品出荷額等は、35市町のうち10市町で前年を上回る～

（1）事業所数

事業所数で見ると、「浜松市」（1,839事業所、構成比20.9%）が最も大きく、以下「静岡市」（1,302事業所、同14.8%）、「富士市」（771事業所、同8.8%）の順で、市の部が全体の93.8%を占めている。また、町の部では「吉田町」（133事業所）、「清水町」（95事業所）、「長泉町」（90事業所）の順となっている。

前年より増加（同数を含む）した市町は、「南伊豆町」、「吉田町」、「裾野市」等の8市町となっており、減少した市町は、「松崎町」、「河津町」、「川根本町」等の27市町となっている。

（2）従業者数

従業者数で見ると、「浜松市」（7万246人、構成比17.0%）が最も大きく、以下「静岡市」（4万7,845人、同11.6%）、「磐田市」（3万6,434人、同8.8%）の順で、市の部が全体の93.5%を占めている。また、町の部では「吉田町」（7,752人）、「長泉町」（5,698人）、「森町」（5,151人）の順となっている。

前年より増加（同数を含む）した市町は、「南伊豆町」、「川根本町」、「富士宮市」等の9市町となっており、減少した市町は、「下田市」、「松崎町」、「伊豆市」等の26市町となっている。

（3）製造品出荷額等

製造品出荷額等で見ると、「静岡市」（2兆1,203億円、構成比12.4%）が最も大きく、以下「浜松市」（1兆9,656億円、同11.5%）、「湖西市」（1兆6,714億円、同9.7%）の順で、市の部が全体の93.3%を占めている。また、町の部では「長泉町」（4,504億円）、「吉田町」（2,746億円）、「小山町」（1,435億円）の順となっている。

前年より増加した市町は、「南伊豆町」、「東伊豆町」、「川根本町」等の10市町であり、減少した市町は、「下田市」、「伊豆市」、「松崎町」等の25市町となっている。

事業所数、従業者数、製造品出荷額等の上位5市

順位	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	市名	(事業所)	構成比	市名	(人)	構成比	市名	(百万円)	構成比
1	浜松市	1,839	20.9%	浜松市	70,246	17.0%	静岡市	2,120,264	12.4%
2	静岡市	1,302	14.8%	静岡市	47,845	11.6%	浜松市	1,965,611	11.5%
3	富士市	771	8.8%	磐田市	36,434	8.8%	湖西市	1,671,392	9.7%
4	焼津市	528	6.0%	富士市	35,752	8.7%	磐田市	1,491,973	8.7%
5	磐田市	513	5.8%	湖西市	24,787	6.0%	富士市	1,425,048	8.3%

事業所数、従業者数、製造品出荷額等の上位5町

順位	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	町名	(事業所)	構成比	町名	(人)	構成比	町名	(百万円)	構成比
1	吉田町	133	1.5%	吉田町	7,752	1.9%	長泉町	450,403	2.6%
2	清水町	95	1.1%	長泉町	5,698	1.4%	吉田町	274,618	1.6%
3	長泉町	90	1.0%	森町	5,151	1.2%	小山町	143,523	0.8%
4	森町	82	0.9%	清水町	3,210	0.8%	森町	134,355	0.8%
5	函南町	48	0.5%	小山町	2,596	0.6%	清水町	102,260	0.6%

1.5 静岡県工業の位置及び推移（従業者4人以上の事業所）

～全国順位…事業所数第5位、従業者数第3位、製造品出荷額等第3位～

（1）全国における本県工業の位置

全国の事業所数は18万1,877事業所、従業者数は771万7,646人、製造品出荷額等は322兆5,334億円で、本県の占めるシェアは各々4.8%、5.4%、5.3%、全国順位は各々5位、3位、3位となっている。

全国における静岡県工業の位置（従業者4人以上の事業所）

順位	事業所数				従業者数				製造品出荷額等			
	都道府県	(事業所)	前年比(%)	前年順位	都道府県	(人)	前年比(%)	前年順位	都道府県	(億円)	前年比(%)	前年順位
1	大阪	15,522	0.1	1	愛知	848,565	▲1.7	1	愛知	479,244	▲1.6	1
2	愛知	15,063	▲1.7	2	大阪	444,362	▲0.7	2	神奈川	177,461	▲3.8	2
3	埼玉	10,490	▲2.8	3	静岡	413,000	▲0.1	3	静岡	171,540	▲2.2	4
4	東京	9,887	0.2	4	埼玉	389,487	▲2.4	4	大阪	169,384	▲3.5	3
5	静岡	8,786	▲2.4	5	兵庫	363,044	▲0.3	5	兵庫	162,633	▲1.5	5
6	兵庫	7,510	▲1.4	6	神奈川	356,780	0.2	6	埼玉	137,582	▲2.7	6
7	神奈川	7,267	▲1.1	7	茨城	272,191	▲0.6	7	茨城	125,812	▲3.5	8
8	岐阜	5,415	▲1.3	8	東京	245,851	▲0.4	8	千葉	125,183	▲4.8	7
9	新潟	5,053	▲3.4	9	福岡	222,453	▲0.0	9	三重	107,173	▲4.4	9
10	福岡	5,009	▲2.9	10	広島	218,639	▲0.7	10	福岡	99,122	▲3.2	10
	全国	181,877	▲1.7		全国	7,717,646	▲0.8		全国	3,225,334	▲2.8	

（注）全国値は、経済産業省の2020年工業統計調査の調査結果（確報）（令和3年8月25日公表）による。

（2）全国比較にみた本県工業の推移

平成22年以降の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移をみると、次のとおりである。

全国及び静岡県の事業所数の推移

調査年次	全国 (A)		静岡県 (B)		本県のシェア (B/A)(%)	本県の順位
	(事業所)	増減率(%)	(事業所)	増減率(%)		
平成22年 (2010)	224 403	-4.8	10 768	-4.4	4.8	5
23 (2011)	233 186	3.9	11 194	4.0	4.8	5
24 (2012)	216 262	-7.3	10 431	-6.8	4.8	5
25 (2013)	208 029	-3.8	10 037	-3.8	4.8	5
26 (2014)	202 410	-2.7	9 777	-2.6	4.8	5
27 (2015)	217 601	7.5	10 492	7.3	4.8	5
28 (2016)	191 339	-12.1	9 299	-11.4	4.9	5
29 (2017)	188 249	-1.6	9 138	-1.7	4.9	5
30 (2018)	185 116	-1.7	9 002	-1.5	4.9	5
令和元年 (2019)	181 877	-1.7	8 786	-2.4	4.8	5

全国及び静岡県の従業者数の推移

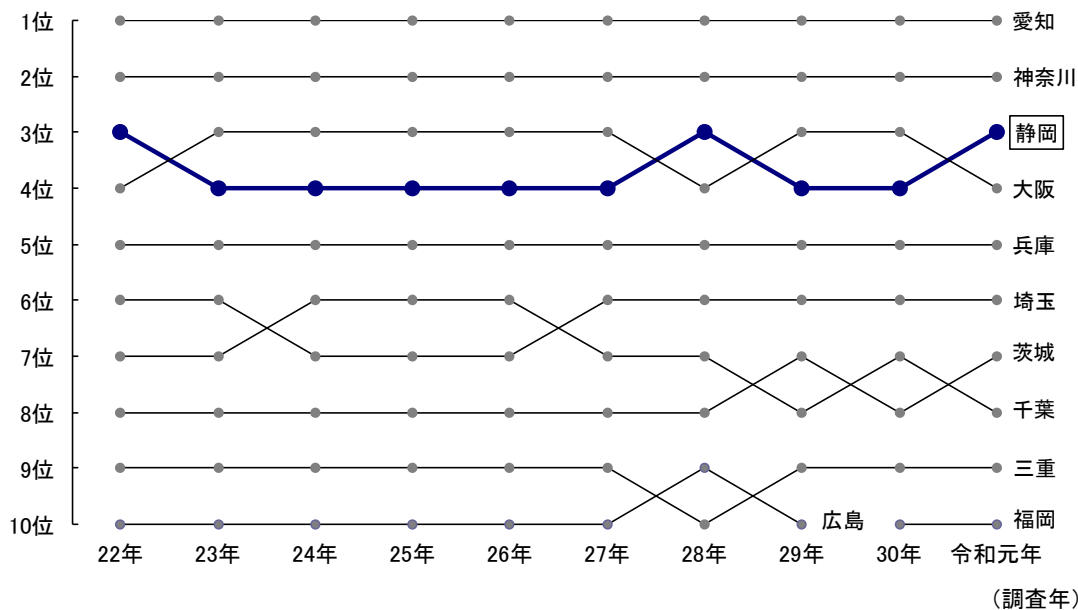
調査年次	全国 (A)		静岡県 (B)		本県のシェア (B/A)(%)	本県の 順位
	(人)	増減率(%)	(人)	増減率(%)		
平成22年 (2010)	7 663 847	-0.9	409 030	-0.6	5.3	3
23 (2011)	7 472 111	-2.5	396 465	-3.1	5.3	3
24 (2012)	7 425 339	-0.6	393 687	-0.7	5.3	3
25 (2013)	7 402 984	-0.3	388 877	-1.2	5.3	3
26 (2014)	7 403 269	0.0	386 924	-0.5	5.2	3
27 (2015)	7 497 792	1.3	396 406	2.5	5.3	3
28 (2016)	7 571 369	1.0	398 450	0.5	5.3	3
29 (2017)	7 697 321	1.7	405 154	1.7	5.3	3
30 (2018)	7 778 124	1.0	413 309	2.0	5.3	3
令和元年 (2019)	7 717 646	-0.8	413 000	-0.1	5.4	3

全国及び静岡県の製造品出荷額等の推移

調査年次	全国 (A)		静岡県 (B)		本県のシェア (B/A)(%)	本県の 順位
	(百万円)	増減率(%)	(百万円)	増減率(%)		
平成22年 (2010)	289 107 683	9.0	15 793 109	4.9	5.5	3
23 (2011)	284 968 753	-1.4	14 949 739	-5.3	5.2	4
24 (2012)	288 727 639	1.3	15 707 724	5.1	5.4	4
25 (2013)	292 092 130	1.2	15 699 131	-0.1	5.4	4
26 (2014)	305 139 989	4.5	16 050 724	2.2	5.3	4
27 (2015)	313 936 004	2.9	16 412 474	2.3	5.2	4
28 (2016)	302 185 204	-3.7	16 132 178	-1.7	5.3	3
29 (2017)	319 035 840	5.6	16 787 113	4.1	5.3	4
30 (2018)	331 809 377	4.0	17 539 461	4.5	5.3	4
令和元年 (2019)	322 533 418	-2.8	17 153 997	-2.2	5.3	3

製造品出荷額等全国順位の推移

(全国順位)

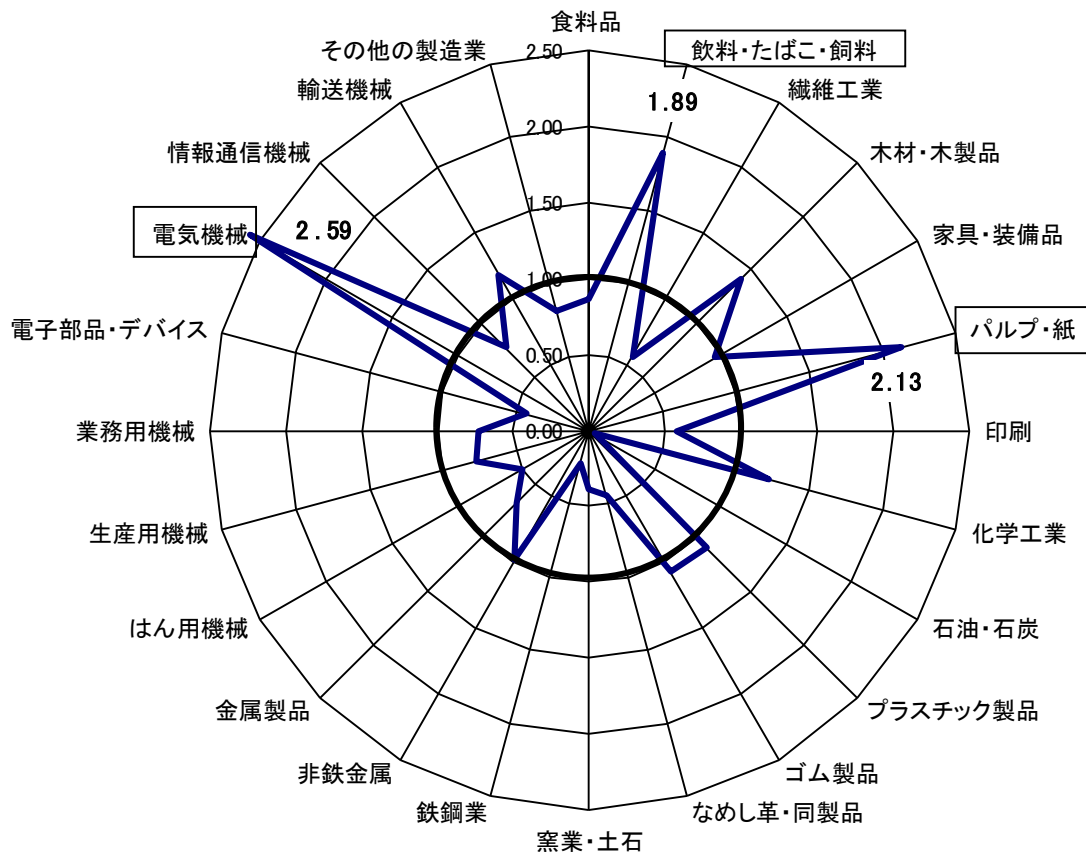


(注) 全国値は、経済産業省の2020年工業統計調査の調査結果(確報)(令和3年8月25日公表)による。

(3) 全国における静岡県の製造品出荷額等の産業中分類別特化係数 (全国=1.00)

静岡県の産業を、全国に対する特化係数 (県の産業中分類別構成比/全国の産業中分類別構成比) でみると、1を超えているのは、高い順に「電気機械」(2.59、全国に占める割合13.8%)、「パルプ・紙」(2.13、同11.3%)、「飲料・たばこ・飼料」(1.89、同10.1%)、「木材・木製品」(1.41、同7.5%)、「化学工業」(1.22、同6.5%)、「輸送機械」(1.18、同6.3%)、「プラスチック製品」(1.10、同5.8%)、「ゴム製品」(1.08、同5.7%)の8産業となっている。

全国における静岡県の製造品出荷額等の産業中分類別特化係数 (全国=1.00)



※ 特化係数が1.00 (上のグラフでは太線) のときは全国の構成比と同じとなり、1を超えて数値が大きくなるほど、その産業の比重が高いことを示している。

(注) 全国値は、経済産業省の2020年工業統計調査の調査結果(確報)(令和3年8月25日公表)による。